

事業実施報告書

団体名：特定非営利活動法人 パープルネットさいたま

事業名：I・Me・Mine～自分がじぶんでいられる居場所～プロジェクト

1 事業の目的

DVが個人の問題ではなく地域の問題として取り組む必要性について学び、啓発の機会を提供することで、地域の一人一人がDVについて問題意識を持つようになる。

支援の隙間にある、DVにさらされた子どもと女性が、安心できる居場所を提供することで、心が回復し、自立へと向かう。

民間支援団体のネットワークを構築することで、複合的サポートが可能となる。これら複合的な事業により、DVにさらされた子どもと女性が安心して自分らしく暮らせる地域づくりを推進することを目的とします。

2 事業内容

(1) 事業の概要

①出前啓発ミニ講座・相談会の実施

事業内容：当初は、DVについての啓発ミニ講座（15分）のみの内容であったが、実施していく中で講座内容を充実（15分→30分）、参加者それぞれの立場で感じたことなどをお茶を飲みながらシェアする時間をプラスし、より効果的な講座内容（2時間）で、延べ8回実施。

講座参加者はDVの問題に気づいた非暴力のサポーターとしてばあぷるサポーターに認定し、ばあぷるくるみボタンをプレゼントした。

母子の心の回復と自立支援を目的とした、母子関係や心のケアに関する相談会を併設。

女性団体や子育てサークルからの要望に応じ出張啓発講座を延べ4回実施。
（北本市、さいたま市、朝霞市、桶川市）

会場：ウエルシア薬局と共催し、ウエルカフェにて実施。（さいたま市、坂戸市）

参加対象：ミニ講座：DVについて知りたい地域の人

相談会：母子関係等に悩む女性、心のケアやDVの問題に興味のある女性
ステップアップ※1）女性への暴力、児童虐待を無くすために自分にもできる事を宣言をする事で、他人事ではない問題であると意識付けした。

With You さいたまフェスティバルの場で宣言の掲示をし、来訪者にも宣言に参加してもらい、ばあぷるサポーターに認定した。

②DVにさらされた子どもとその母親の居場所事業の実施

事業内容：子ども達、女性達とインストラクターが安全な場で安心な時間を共有し、楽しく豊かな体験を共にする中で、気持ちや悩みを話す時間を持つ。

誤った学習を学び直し、安心・安全な対人コミュニケーションを考え、様々なテーマ（面会交流、母子関係など）で思いを語り、受け止められ、心の整理をする時間を得る居場所を8回実施。

参加対象：DVにさらされた子どもとその母親（子どものみ、母親のみでも参加可）

ステップアップ※2) 心が回復した次のステップとして、他の女性や子どもに対し、寄り添う機会、支援する機会へとつなげた。
(活動ボランティアの会『ぼら Café』開催)

③パープルネットワーク@埼玉の構築

事業内容：埼玉県内DV被害者民間支援団体、女性・子どもの支援者・団体が顔の見える関係で、お互いの活動を知り、協働活動を目指すネットワークを構築し、会議を年2回開催。

(2) 事業の流れ

時期	活動事項	実施日	会場	参加人数	個別相談	参加 スタッフ数
2017年6月～ 2018年1月	①出前啓発ミニ講座・相談会	2017/6/28	さいたま市	7	0	6
		2017/7/26	さいたま市	5	0	5
		2017/8/23	さいたま市	4	0	3
		2017/8/26	坂戸市	4	0	4
		2017/9/9	坂戸市	3	0	3
		2017/9/27	さいたま市	6	1	3
		2017/10/18	さいたま市	1	0	3
		2017/11/22	さいたま市	5	2	3
		2017/10/24	北本市	7	0	1
		2017/12/12	朝霞市	14	0	1
		2018/1/12	さいたま市	11	0	1
		2018/1/25	桶川市	16	0	2
計		12回		83	3	35
2017年7月～ 2018年2月	②居場所事業	2017/7/1	さいたま市	2	—	5
		2017/8/5	さいたま市	8	—	8
		2017/9/2	さいたま市	3	—	7
		2017/10/7	さいたま市	2	—	2
		2017/11/4	さいたま市	6	—	5
		2017/12/2	さいたま市	8	—	5
		2017/2/3	さいたま市	6	—	7
		2017/2/10	さいたま市	7	—	8
計		8回		42	—	47
2017年10月・ 2018年2月	③パープルネットワーク@埼玉	2017/11/20	さいたま市	7	—	1
		2018/2/15	さいたま市	6	—	1
計		2回		13	—	2
2018年2月	ステップアップ※1) 事業報告 With You さいたま フェス 3日間	2018/2/2	さいたま市	10	—	4
		2018/2/3	さいたま市	22	—	2
		2018/2/4	さいたま市	36	—	2
計		3回		68	—	8
2017年11月～ 2018年1月	ステップアップ※2) ボラcafé	2017/11/7	さいたま市	1	—	3
		2017/11/13	さいたま市	1	—	6
		2018/1/31	さいたま市	1	—	4
計		3回		3	—	13

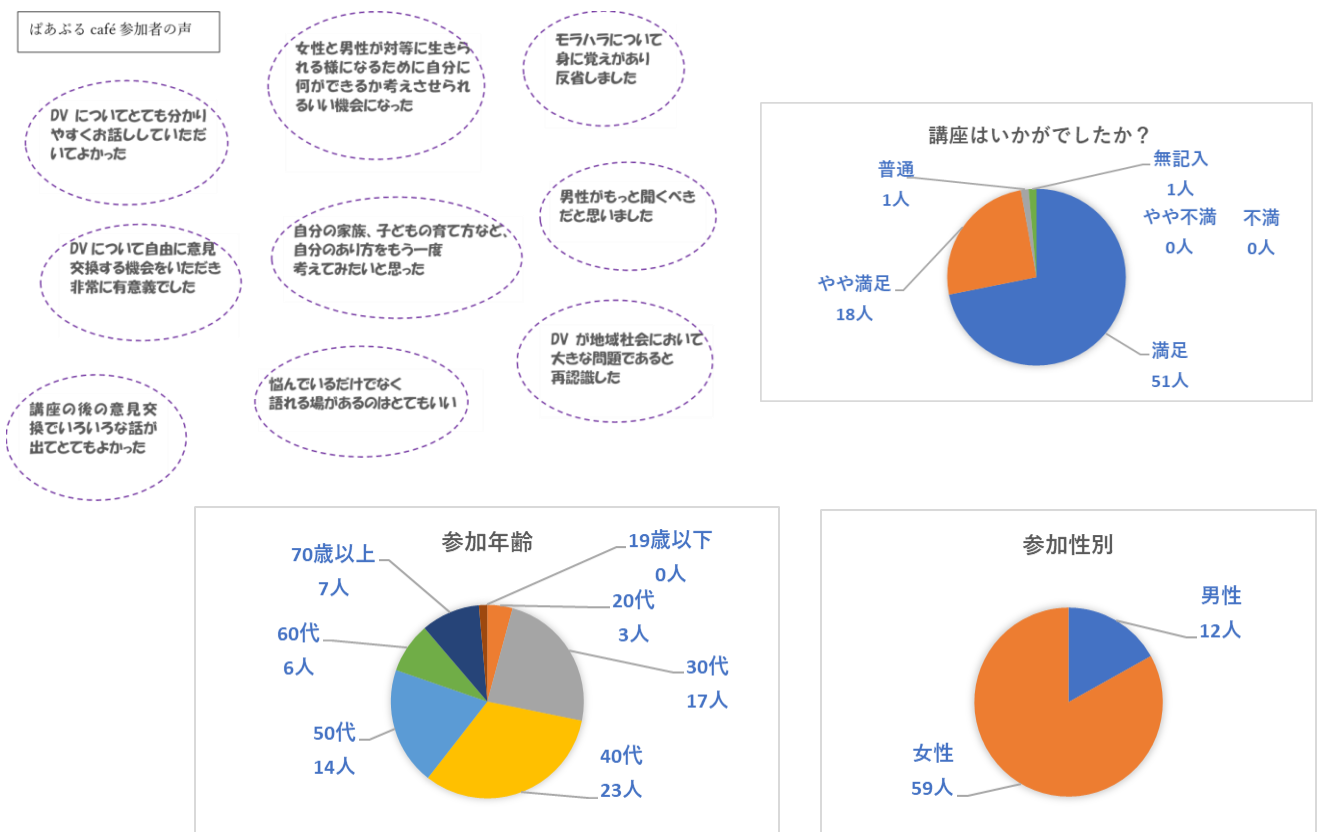
(3) 連携・協力機関

- ・ ウェルシア薬局（会場協力、広報協力）
- ・ C.C.スペース（参加者紹介、広報協力）
- ・ さいたま市、坂戸市（後援、広報協力）
- ・ 埼玉県男女共同参画課（広報協力）
- ・ 埼玉県男女共同参画推進センター（広報協力）

3 成果及び今後の展開

① 出前啓発ミニ講座・相談会 ぱあふる café 成果

1. ぱあふるサポーター延べ83名認定。With You さいたま フェスティバルの事業発表にて68名認定。非暴力の地域を支える合計151名の新たな仲間を増やす事ができた。
2. これまでの活動では繋がることのなかった団体等と関わるきっかけとなった。DVの問題に興味を持った団体の活動の場所に出張し、ぱあふる café を4か所で実施できた。
3. 講座参加の被害当事者の個別相談から② I・Me・Mine に参加、継続的な支援につながった。



今後の課題、展開

1. 連携、協力機関の協力を得ながら、参加者募集の広報を実施したが、DVの問題がテーマの講座に参加することはハードルが高いと感じる人も多く、参加者数が伸びなかった。参加し話を聞くことで、DVの問題が身近で重要な問題であると気づいてもらえる機会となるので、DVの講座と前面に出すのではなく、まず

は参加してもらうために、ソフトなテーマ（自尊心や対人関係）の講座を設定し、DVの問題の内容も盛り込んでいく構成を考えていく必要があると感じた。また、会場で待っているだけでなく、理解者を少しずつ増やしながらか、興味をもってくれた団体へアウトリーチしていく出張講座を実施していきたい。

2. 講座参加者の中には、DVについての認識がずれていたり、知らずに暴力を容認している方がいた。身近にDV被害者がいてもどうしていいか分からなかったという方もいた。知ることはその人の力になるので、必要な情報を一人でも多くの人に伝えていく必要がある事を改めて感じた。来年度も引き続き啓発講座を実施していきたい。

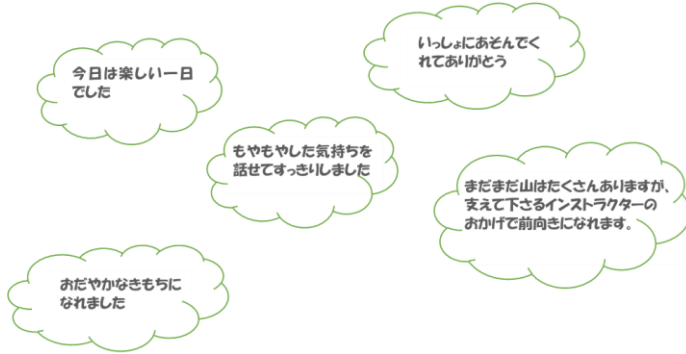


②DVにさらされた子どもとその母親の居場所事業 成果

1. 毎月実施した I・Me・Mine に参加することを本当に楽しみにしているとの声を多くいただいた。日々のもやもやしたこと、悩みなどを安心して話せる居場所を提供できた。
2. 今までの活動では子ども（年中から小学校低学年）とその母親の支援が中心であったが、I・Me・Mine 事業を実施したことで、子どものいない当事者女性や幅広い年齢の子どもと繋がることができ、継続的な支援の機会となった。
3. 居場所事業に参加する中で、ボランティア、支援者として活動したいとの要望に応え、活動ボランティアの会『ぼら Café』を3回実施した。インストラクターと当事者が平らな立場で協働活動する機会となった。

今後の課題、展開

1. 子どもの年齢ステージに応じた悩み（面会交流、思春期、進学など）に寄り添った支援の場としても居場所事業を活用していく。来年度、とまり木 café～思春期ワークを実施する。
2. 安心な居場所として継続的に開催できる様、資金面を含め努力していく。来年度 I・Me・Mine を偶数月に実施する。
3. 当事者が支援者となるステップの場所として『ぼら Café』を来年度も継続し、年に数回実施する。



③パープルネットワーク@埼玉 成果

1. ネットワークに10団体が参加した。

(参加団体)

- ・CAP くれよん
- ・CAP 東埼玉
- ・くきCAP
- ・ぐーちょきぱーていー
- ・グループSECたまちゃん
- ・女性のスペース結
- ・NPO法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ
- ・NPO法人彩の子ネットワーク
- ・NPO法人C.C. スペース
- ・はぐたまカフェ

2. DV被害者に特化した支援団体だけでなく、女性や子どもの支援団体、女性団体、子育て団体ともつながることが出来た。お互いの活動を深く知ることで、必要な支援を知る機会となった。

今後の課題、展開

1. 来年度も継続的に集まる機会を作っていく、ネットワークを拡大していく。

どこの団体もぎりぎりの予算で運営しており、会議へ参加することでのメリットや必要性を感じていても、交通費の出費が痛いとの声があった。それぞれの活動を紹介することで講師料を出せる等仕組みを考えていく必要がある。

④事業の広報活動及び成果発表

これまでの活動における繋がりへの協力に加え、I・Me・Mine事業での新しい繋がりへの協力をうけ、幅広く広報活動を行うことが出来た。DVの問題と関わりのなかった関係団体の方の新たな視点を活かし、募集チラシを作ることができた。延べ5,500枚のチラシを作成し、各方面に配架及び配布した。

今後も様々な分野の団体等と積極的につながり、より効果的な広報活動、成果発表をしていきたい。

- ・ばあふるcafé@さいたま

配架協力：With You さいたま、さいたま市男女共同参画課、パートナーシップ
さいたま、さいたま市内図書館、ウエルシア薬局さいたま市内店舗、
さいたま市市民活動サポートセンター

配布協力：埼玉県男女共同参画課（市町村連携会議、子どもの心のケア研修会）、
NPO 法人 C. C. スペース、さいたま市社会福祉協議会、ナーシングヴ
ィラ与野、一般社団法人社会的包摂サポートセンター、NPO 法人女
性ネット saya-saya

・ ぱあふる café@坂戸

配架協力：With You さいたま、坂戸市勤労女性センター、ウエルシア薬局坂
戸市内店舗、さいたま市市民活動サポートセンター

配布協力：埼玉県男女共同参画課（市町村連携会議、子どもの心のケア研修会）、
NPO 法人 C. C. スペース、一般社団法人社会的包摂サポートセンター、
NPO 法人女性ネット saya-saya

・ I・Me・Mine 居場所事業

配布協力：埼玉県男女共同参画課、NPO 法人 C. C. スペース、一般社団法人社会
的包摂サポートセンター、NPO 法人女性ネット saya-saya

・ ニュースレター（活動報告）

配布先：パープルネットさいたま会員、パープルネットワーク参加団体、I・
Me・Mine プロジェクト連携・協力機関、NPO 法人女性ネット saya-saya、

※HP、Facebook にて随時、講座の告知、参加者募集、開催報告等を発信。

※With You さいたま フェスティバル（2/2.3.4）、さいたま市市民活動サポートセ
ンターフェスティバル（3/3.4）、こども☆夢☆未来フェスティバル 2018（3/18）
にて、活動発表及びパープルサポーター認定。



添付書類

- (1) 掲載記事（産経ビズ）
- (2) 募集チラシ（7種類）
- (3) ぱあふる café 参加者アンケート結果
- (4) ぱあふる café 講座資料
- (5) 参加者の声
- (5) 関連写真